

よこはま都市消防



公益社団法人 横浜市防火防災協会
Yokohama Disaster Prevention



みなとみらいにて 近藤 美樹さん

巻末

令和4年度
■救命講習・応急手当普及員講習
■防火・防災管理講習
日程決まる

54号

1 4月 7 10

| 2022 | Spring |

目次／フォト収集 2

消防車は語る(第9回) 3
 GMC 水槽付き消防車 1950年ころ

横浜消防の近代史 4～5
 幕末維新期の火災現場

潤滑油と触媒 5
 「狩猟民族」と「農耕民族」

「滅災新聞」の視点 6～7
 「避難意識」どう高めるか

いざという時のための「ひとり整体」のすすめ 7

防災の取り組みにアシスト 第3回 8～9
 豪雨から災害発生までの時間はあまりに短い！

救急よもやま話 10

特別寄稿 人的エラーからの脱却 VI 11

横浜消防トピック119 12～13
 ● 消防艇まもり
 ● 石油コンビナート技能コンテスト最優秀賞

● [IFCAA 2022 YOKOHAMA]を開催
 ● 港北消防フォトコンテストを開催

私の趣味 No.3 14～15
 登山とギター

好評連載 16～17
 ● 新約消防白書 命に繋がる知識は関心があり
 ● コラム 妄言多謝 ● 横浜路地裏日記
 ● ベストショット ● 私の(好きな)日本酒

編集後記

巻末 特集ページ

- 防火・防災管理講習等日程表
- 講習紹介コーナー「救命講習」
- 救命講習・応急手当普及員講習日程表
- 「消防関係法令集」販売中

「フォト収集」#19

花

ファンタジー 作者：M・N
 撮影地：横浜イングリッシュガーデン



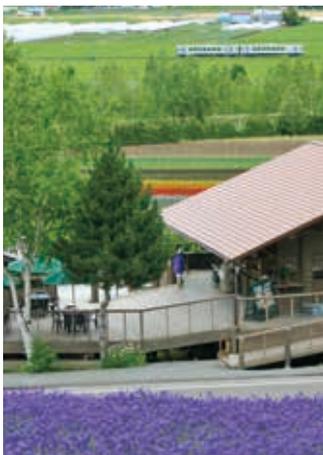
山

春告げる満開のミツマタ 作者：武笠 基和
 撮影地：大出山(神奈川県)



北海道

また行きたい場所ありますか？ 作者：有賀 大重
 撮影地：富良野



横浜

大岡川の桜 作者：天野 義照
 撮影地：南区花見橋



画：渡邊 雄二

GMC水槽付き消防車 1950年ころ

このイラストの車両は横浜市消防局 中 消防署に配置されていた車両である。

第7回で記したタイプは水タンクであるが今回のGMCは消防車仕様の形式である。

水の積載量は2.5トン、消火栓からのタンクへの補水は大吸管ではなく大口徑の布ホースである。

このタイプは戦後に落ち着いた時代に製造されたようで丁寧な仕上がりが施されていたようである。例えば、シャシーフレームは頑丈に設計され、大型のバンパーとともにウィンチベッドを構成してポンプ本体を支えている。荷台は厚い鋼板でホースの滑り出しを確実にしている。米国にはリヤカータイプのホースカーはなく、すべて折りたたみ式に収納されたホースを引き出すタイプである。

我が国の細いホースを積むと大量のホースを積むことができ、最近のホースレイヤーカーの原点とも感じている。

この車の機関員であった先輩に感想を聞かせてもらった。まず、感覚的に巨大であること。重たい感じが不安感につながったこと。住宅地のクランク地形での後退誘導は6人全員で行ったこと。死角が多くその面積も広いので大きい道路に部署したこと。6輪駆動であったが、その機能を発揮する機会はなかったこと。不整地性能は体験しておきたかったと言わせるほど素晴らしい性能だったようである。滑りやすい市電の軌道敷(石畳と鉄路)では6輪駆動の性能を遺憾な

く発揮し、安全に走行し満足できたそうだ。勇猛果敢と評された 中 第2消防隊の基礎を築いた消防車であった。

エピソード

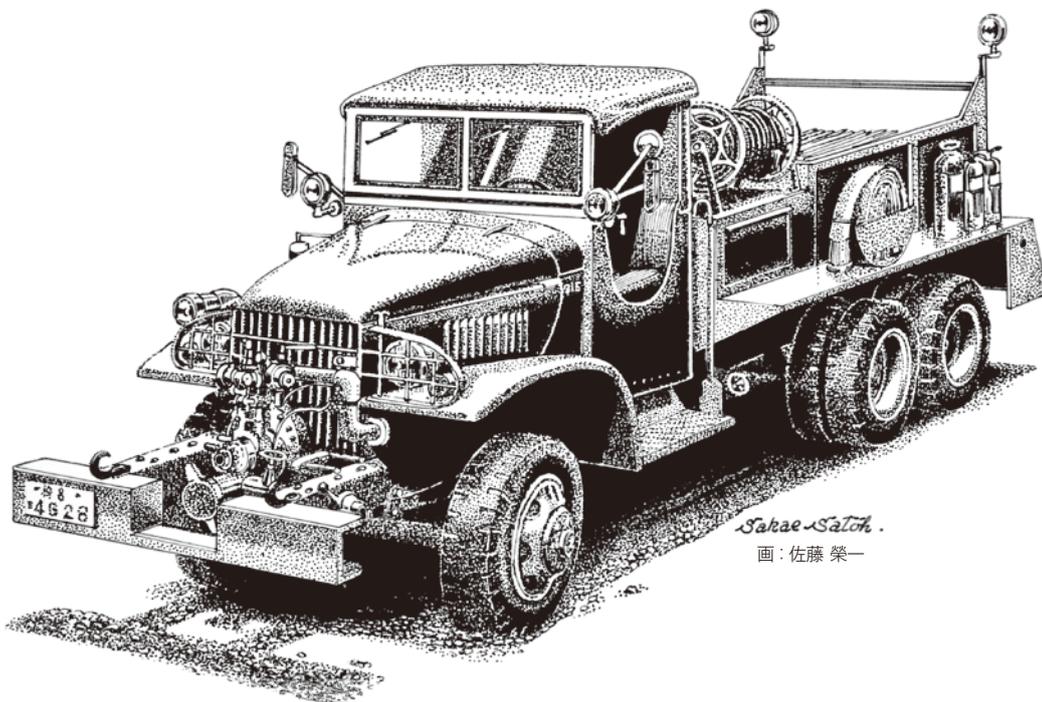
このイラストの後継車が横浜市の米陸軍岸根キャンプの消防隊に配置されていました。1966年ころです。私は、入江町兼務救助隊に属しており、毎年2~3回は合同訓練をしていました。車体の仕上げは軍用車とは思えないほど上質なものでした。岸根は根岸の反対なのでUS根岸消防と間違える人もおりました。入江町救助隊は発足当時、神奈川・港北・鶴見を担当しておりました。

岸根キャンプの正式名は「岸根バラック(兵舎)」で兵員宿舎でしたが、ベトナム戦争の戦況により遺体置き場に転換されたらしく市会でも問題視され始めたころです。六角橋商店街の炎上火災でこのGMを目撃しましたが、とても大きさを感じました。新横浜駅が開業し、横浜市内の米軍基地の返還が軌道に乗り始め、新生日本が感じられると同時に、市井の安寧に資する消防としての誇りを実感できた時代でした。



がもん
防災・生活安全 我聞塾
桐蔭横浜大学 客員教授

佐藤 榮一



Sakae Sato.

画：佐藤 榮一

横浜消防の近代史

幕末維新期の火災現場

横浜都市発展記念館
調査研究員 吉田 律人



図 火災 L. クレボン画 Aime.Humbert,Le Japon illustre (Paris: Hachette,1870) 所収 横浜開港資料館所蔵

玄蕃桶や龍吐水を用いた消火方法はあったものの、放水技術が未発達な江戸時代は風下の建物を破壊して延焼を防いでいく「破壊消防」が中心であった。幕末維新时期、外国人画家たちはそうした火災現場の様子を描いていった。スイス特命全権公使であったエーメ・アンペールの著した『日本図絵』下巻（アシェット社出版、1870年）に収められた「火災」（【図】参照）もその一つで、これはアンペールが独自に入手したものだろう。1863（文久3）年に来日し、約18ヶ月間の滞在中に日本の風土や文化を観察したアンペールは、自著で「地震はよく起るのだが、めったに大事に至らない。それで、火事ほどには恐れられていないのである。この火事は、日本人の生活の中に、

もっとも絵画的な光景の一つを提供している。レール氏は、消防の任務に就く人々の組織、制服、消防に使う道具等を詳細に記している」（高橋邦太郎訳『アンペール幕末日本図絵』下、雄松堂書店、1970年、372～373頁）としている。『日本図絵』所収のスケッチには、日本画を模写したものも多いので、外国人画家が臨場したか定かではないが、同時代の火消組の装備や火災現場の様子が窺える（岡田章雄「アンペール『日本図絵』について」、『浮世絵芸術』第20号、1968年）。

描かれた場所は判然としないが、おそらく江戸の様子だと考えられる。被写体の中心は火元に急行する火消組の姿で、馬に乗った指揮官を先頭に、提灯、鳶口、刺又、梯子、高張提灯、纏を持つ

た火消人足と続き、最後尾に龍吐水と玄蕃桶が位置している。当時、乗馬が許されたのは基本的に武士のみなので、この火消組は武家のものであろう。江戸時代後期の都市風俗を記した『守貞謾稿』は、「火場に出るに鳶口のみを持つを、平人足と云。諸具を持って良とす。其内にも纏を持つを良とし、梯子次之。竜吐水及び玄蕃桶等を持は平人よりも下とす。纏と梯子の夫を道具持と云」とし、「平人足の上、道具持、平人の功ある者を択で命之。道具持より頭取に至る也」と、火消人足の階級を示している（喜多川守貞著、朝倉治彦・柏川修一編『守貞謾稿』第1巻、東京堂出版、1992年、95頁）。つまり、火消人足は頭取を頂点に、道具持（纏持ち、梯子持ち）、平人足（鳶口持ち）、龍吐水及び玄蕃桶持ちの順番となっていた。また、同書は「鳶人足（平人足—引用者注）の前に梯子、鳶人足の次に纏、後に龍吐水」と出場時の順番も記しており、スケッチの内容もおおよそこれと合致している。火消組が放水よりも破壊に重点を置いていたことがわかる。

沿道では、火消組に火元を知らせる人や馬を先導する人がいる一方、老人を背負い避難する人や負傷者を移送する人々なども確認できる。また、通りに面した商家では、延焼に備えた避難作業が始まっており、二階から荷物や戸などを降ろしている。これは建物破壊の準備でもあった。延焼前に破壊される建物は、鳶口を使って骨組みだけの状態とし、最後は梯子や刺又を使って柱を押し倒していく。さらに商家の軒先では、火消人足が大団扇を扇いで火の粉を払っているほか、その左側には火の見櫓の上で半鐘を叩く人物も描かれている。激しい警戒音が鳴るなか、火災現場は混乱を極めていた。火の見櫓の後方、燃え盛る火元の手前では、建物の屋根の上に纏を持った火消人足が並び、火災の拡大を警戒している。このスケッチでは確認できないが、各々の纏の前では、所属する火消人足たちが鳶口を使って屋根の瓦を剥がしていたと推察できる。そうした火災現場の光景は、火災発生時の横浜においても同様であっただろう。

潤滑油と触媒 防災を滑らかに伝え、周りを触発する手法アレコレ

今回の触発キーワード 『狩猟民族』と『農耕民族』

友人の個人的な話で恐縮であるが、長年連れ添った妻との性格の違いが、時を経て段々と明確になってきたそうだ。それはもちろん良い、悪いではない。それぞれの性格があり、育った環境の違い、その時々置かれた立場の変化など、複雑多岐の要素が絡み合う。夫婦の間で最近こうだな、と思う違いは、妻はやりたいことを先にやり、彼はやるべきことを先にやるタイプであること。とにかく妻は目的に最短距離、彼は周りを見ながら進む。そのようなことが多く、転じて妻は「狩猟民族」、彼は「農耕民族」だな、と思うそうだ。

これを防災に当てはめて考えると、普段は「農耕民族」であるべきである。こつこつと災害を防ぐ仕事をし、有事に備えて蓄えもする。一方で有事の際は「狩猟民族」の出番である。災害時は瞬時の判断が生死を分けることもある。訓練で得た経験を活かし、五感を働かせ、とにかく安全地帯まで避難したり、災害を鎮圧したりしなければならない。

そう考えると、正に両者の融合が「安全」と「幸せ」に結びつくだ、と思う今日この頃である。(F)



「減災新聞」の視点

神奈川新聞記者 渡辺 渉



2019年9月の房総半島台風で屋根が飛ばされた横浜市内の住宅、風害のリスクが浮かび上がった

「避難意識」 どう高めるか

避難に対する意識をどう高めるか、そして持続させるか。大規模な災害で逃げ遅れが課題となるたびにその大切さを思い、同時に難しさを痛感させられる。

横浜市が1月に結果を公表した防災アンケートで、回答者の65.5%が風水害時の避難先を検討していないことが明らかになった。その主な理由は「検討の方法が分からない」だった。

アンケートは2015年度から3年に1回実施している。3回目の今回は昨年6～7月、15歳以上の市民1万人を対象に行い、3,553人が回答した。この間、市内では2019年秋の台風15号（房総半島台風）と台風19号（東日本台風）で被害が相次いでいる。調査結果は風水害に対する意識の高まりをうかがわせるものだった。

風水害時に感じた不安に関する設問（3つまで回答）では、3年前の調査で6位だった「竜巻、突風」

が35.6%で1位に上昇。2位以下は「崖崩れ、土砂崩れ、地割れ」（29.6%）、「落雷」（27.1%）、「下水管などからの逆流（内水）」（22.4%）と続いた。これらの不安要素が上位になったのは、房総半島台風や東日本台風の際に市民が肌で感じたリスクが反映された結果と言えそうだ。前回3位だった「（不安を）感じたことがない」（17.2%）が7位に低下してもいる。

にもかかわらず、風水害時の避難先について3人に2人が検討していないという結果をどう受け止めるか。もちろん、自宅が安全なので避難先を検討する必要がないという人も少なくないだろう。ただ、そうした人についても、自宅周辺のリスクの有無をきちんと把握した上で、避難が不要と判断したかどうかは分からない。「あの台風でも被害に遭わなかったのだから、うちは大丈夫だろう」という漠然とした判断が潜んでいないだろうか。

災害の現場や被災者を取材してきて感じるのは、避難という行為は実際にはかなりハードルが高いということだ。直面する事態を過小評価してしまう「正常性バイアス」は、避難する上で妨げになる心理としてよ

く言及されるが、これは誰にもあるものなのだろう。自分自身に置き換えて考えてみても、風雨の危険が迫った時に本当に避難できるかどうかは正直分からない。

だからこそ、背中を後押しする何かが必要なのだと思う。国や自治体、あるいはメディアからの呼び掛けがその機能を果たすこともあれば、近隣住民による声掛けが行動を促進することもあるはずだ。高齢者にとっては、孫からの電話が最も効果的かもしれない。

ただ、そうしたきっかけとは別に、住民自らの準備が本来は必要だ。その手掛かりとなるハザードマップや

■ 風水害で心配していること

① 竜巻、突風	35.6%
② 崖崩れや土砂崩れ	29.6%
③ 落雷	27.1%
④ 下水管などの逆流	22.4%
⑤ 道路冠水	22.0%
⑥ 河川の氾濫	21.6%
⑦ 感じたことがない	17.2%
⑧ 建物の浸水	15.0%
⑨ 大雪	7.7%
⑩ 高潮、高波	2.5%

〔横浜市民の防災・減災の意識、取組に関するアンケート〕から、10位まで

被害想定などの情報は豊富にあるが、あまり関心が寄せられていないのが実態だろう。

地域性や被災経験の有無などによって異なる避難意識のギャップをどう埋めていくか。妙案は容易に見いだせないが、マイ・タイムラインは一つの有力なツールとなりそうだ。これを多くの住民が作成すれば、身の回りに潜む災害リスクに目を向けるきっかけになり得る。

問題は、防災の入り口にもまだ立っていない人にその機会をどう提供していくかだ。時間と手間はかかるが、地域に分け入り、地道に呼び掛けていく以外にないと思う。多くの人が「検討の方法が分からない」のだから。



房総半島台風の高波被害を受け、横浜市金沢区の臨海部では防潮堤や護岸がかさ上げされた。=2022年2月

いざという時のための 「ひとり整体」のすすめ

● 坂の上の整体院 院長 齊藤 正人

呼吸は、肺が広がったり縮んだりして行われています。呼吸に使われる筋肉、呼吸筋が、硬くなると、肺の空気を出し入れする力が、落ちてしまいます。そうすると、浅くて速い呼吸になり、息苦しさを覚えるようになります。

呼吸にとって最も重要とされる筋肉は肺の下にある横隔膜で、息を吸う時には、横隔膜が下がって肺を減圧し、空気を取り入れます。吐くときは横隔膜が上がり肺に加圧して空気を出します。

呼吸筋は、横隔膜の他に、腹筋群、骨盤底筋群、首や肩や背中や鎖骨周辺の筋肉があります。

今回は、歩きながら呼吸筋を鍛える方法をお伝えします。やり方は、口をすぼめて息を細くゆっくり吐きながら、普段

歩いている速さで歩きます。その時に、あごを引き、お腹を引っ込めながら、歩いてください。可能な限りで大丈夫です。

吐いている時間ですが、少しずつ長くしていけると良いです。15歩前後まで、吐き続けるのを目標にすると良いでしょう。

吐ききったら、立ち止まり、息を鼻から普通に吸ってください。苦しかったら、口から吸っても大丈夫です。これを繰り返します。

初めは、五分ぐらいから始めて、20分ぐらいできるようになると良いと良いでしょう。一日、二、三回行うとさらに良いでしょう。

呼吸を意識した歩き方

- 口をすぼめて息を吐き続ける
- ◆ 肩を後ろへひき、胸を開く
- ◆ あごをひく
- ◆ おなかをへこませる

坂の上の整体院 ● お問い合わせ

045-878-5168

横浜市港南区上永谷3-9-19
ジュピターサイトウ 1階



第3回

防災の取り組みに アシスト

豪雨から災害発生までの時間は
あまりに短い！

日本各地では、降雨量の多い豪雨や大型化し北上して上陸する台風など気象現象が年々変化し、災害が激甚化する傾向にあります。

災害をもたらすおそれのある豪雨などの可能性が高まると、気象庁や市町村からは詳しい気象情報とともに早期の避難が呼びかけられますが、大規模な風水害が起きると、避難が間に合わなかったとか、避難をしようとしたら夜間で避難ができなかったといった事例が繰り返され、なぜもっと早く避難ができなかったのかという課題が提起されます。

では、豪雨などから災害の発生までにはどの位の時間の余裕があるのでしょうか。

意外と短い土砂災害までの時間

昨今、気象観測技術やデータの処理スピード、報道

体制などが進化し、迅速に雨や風の強さといった気象情報が提供されるようになっていきます。これにより、身に危険が迫るような激甚な気象現象までの時間はある程度予測できるようになり、何となく時間的に余裕があるような感覚があります。

国土交通省のデータによれば、ここ50年の自然災害のうち最も多くの死者・行方不明者を発生させている災害は土砂災害で約4割（阪神淡路大震災及び東日本大震災を除く。）を占めます。この土砂災害は、雨の降り方は勿論のこと、崖地の傾斜や土質、樹木の種類、土壌の中の水分量等によって発生の様子は異なってきますが、その引き金となる集中豪雨から土砂災害の発生までの時間は意外にも短い事案が多くあります。

いくつかの例をみてみますと、

平成11年6月の豪雨で6人が亡くなった呉市では15時頃から急に強い雨となり時雨量70mm弱の雨が2時間続きましたが、1時間位経過した16時頃に土砂災害が発生しました。（図1）

また、74人が犠牲になった平成26年8月の広島市の土砂災害では、夜中の1時50分頃から雨が強くなり時雨量90mmを超える雨が約2時間続き、降り始めから1時間から1時間30分が経過して大規模な土砂災害が発生しています。（図2）

平成29年の九州北部豪雨のように数時間雨が続いて土砂災害が発生する事例もありますが、強い雨が降り始めてから1時間から2時間程度で土砂災害が発生している例は他にも多くあります。

横浜気象台における過去のデータの中で、最大時雨量のあった上位3日の雨の降り方を図3に示しました。前記の例と同様に前後の雨が少なく、ある時間

図1 広島県呉市の事例（平成11年6月29日）

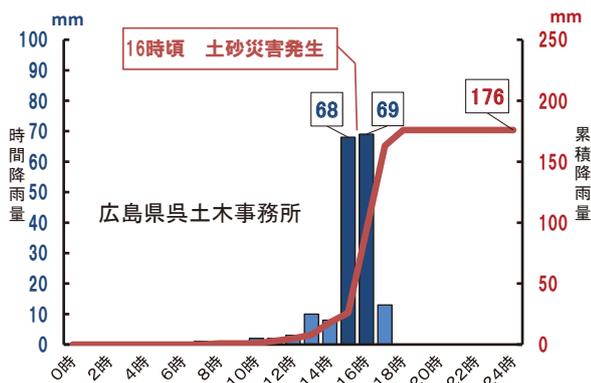
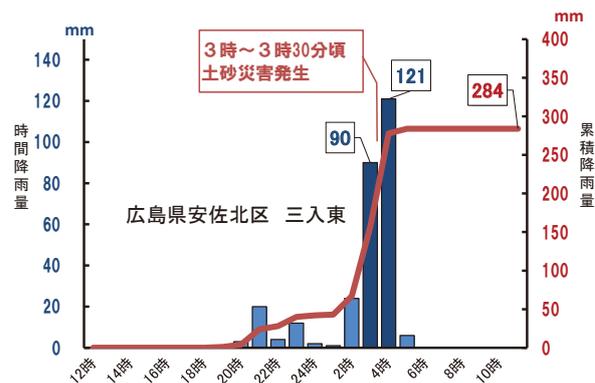


図2 広島県広島市の事例（平成26年8月19日～20日）



帯に集中的に雨が降っていることが分かります。これらの日には市内で浸水やがけ崩れ被害が起きています。

1時間もあれば避難には十分と思いがちですが、避難するかどうかを考え、避難のために必要なものを揃えたりしていると直ぐに時間が過ぎてしまいます。特に夜間は周囲の状況が見えにくいなど避難は昼間よりも難しさが増し、より長い時間を要します。

たとえ先行する雨が降っていなくても気象に関する情報や市町村からの避難指示によっては速やかに避難行動を起こす準備をしないといけませんし、もし15分間程度の間を経験したことのないような強い雨が続くようであれば、それは災害発生の瞬間が目の前に迫っていることを認識しなければなりません。

豪雨による災害の発生は、時として避難への判断と行動を起こす時間的余裕がないことを知っておく必要があります。

【土石流の速さ】

豪雨の発生について高い確率で予測できるようになっていますが、土砂災害についてはいつどこで発生するのか予測することは困難です。

そして、土砂災害が発生するとその速さと力は大きく、発生場所からの距離にもよりますが逃げることは極めて難しくなります。例えば、平成26年の広島市で発生した土石流の速さは時速40kmに達し、瞬間的には140kmを超えていたとされています。また、昨年熱海市で発生した土石流の速さは時速30kmから40kmであったと推測されています。いずれも、人が全速力で走るスピードを超えており、土石流が近くに見えてから逃げ出したのでは、間に合わないこととなります。

川の氾濫による水位の上昇

大雨に伴い、河川の決壊による水害も多く発生しています。一般的に氾濫水による上昇速度は、毎分1～3cm程度とされ、破堤箇所近くでは毎分5～7cmに達するといわれています。平成30年の西日本豪雨で51の方が亡くなった岡山県真備町付近の水位の上昇速度は最大で4.5cm/分と急激な上昇であったとされています。

河川が氾濫をすると、河川からの距離にもよりますが、10分すると水深が最大で70cm程度になることになり、成年で避難が困難になるといわれる80cmに近づくこととなります。ここでも早期避難の大切さが見えてきます。

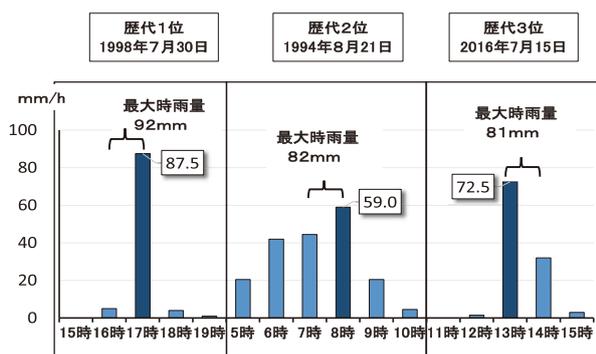
早く避難する心構えを

東日本大震災で被災された方々を対象に(株)ウェザーニューズが行った津波からの避難についての調査で、避難開始までの時間は、生存者が平均19分、お亡くなりになった方々は平均21分で、その差は2分であったというものがあります。

どのような自然現象であっても災害への危険が迫っているときの避難は決して容易ではありませんが、ともかく早い判断と避難が命を守る鍵になることは間違いありません。

避難の形態は災害によって様々であり、災害に応じて避難の方向や場所、避難までの時間等は変わってきます。自分に関係する災害を想像しながら、いざというときの避難について話し合ってみては如何でしょうか。

図3 最大時雨量を観測した日の集中時間帯の雨量 (横浜気象台)



元 中消防署長 小野 和夫

救急よもやま話

救急隊員章のヒミツ



横浜市防火防災協会
講習課アドバイザー

吉田 茂男

横浜市消防局の皆さんが装着している救急隊員章はいつからあるかご存知ですか？
答えは27年前で、救急隊員章が制定されたのは1995年(平成7年)4月1日です。今回は救急隊員章が作られた背景などについてお話したいと思います。

当時私は救急課に所属し、救急隊の皆さんから「格好いいワッペンと感染防止衣を作って欲しい」と熱望されていました。そこでまず新たなワッペンを制定するための理由付けを考えました。平成6年にパシフィコ横浜で国連防災世界会議が開催されたこともあり資料を調べていたところ、横浜市に居住する外国籍の方に対するアンケート調査があり、その方たちが最も不安に感じていることは突然病気になった際の医療だとわかりました。このことから横浜を訪れた外国の方が救急要請した際、到着した消防職員が救急隊資格者であることを国際的に認識可能なものにしようと考えました。

基本的に救急隊員の資格名を英語表記にするほか、国際的な救急シンボルマークを使う、色をエマージェンシーカラーにする、の3点にこだわりました。そこで出来上がったのが現在の救急隊員章です。資格を表す英語名を「Emergency Medical Technician」とし、シンボルマークは世界標準の「スター・オブ・ライフ(生命の星)」、ベースカラーはオレンジ色、縁どりは横浜ブルー、文字はシルバーとし、現在のデザインが完成しました。

一番大変だったのは規程改正も含め、決裁時の説明です。当時は関係課も含め部長まで口頭で説明して押印してもらった時代です。少々不安はありましたが、横浜が国際都市をめざすなか理由が判然としていたことから、救急隊員章の制定にもデザインにも異論等を挟む方はほぼいらっしゃいませんでした。

作った本人として最も嬉しいことは、27年経過した今も使ってもらっている事と、デザイン的に劣っていない事です。マークや章というものは誇りであり、とても大切だと思います。

その翌年(平成8年)には現行とほぼ同デザインの防寒インナー付きブルゾンタイプの感染防止衣を制作し、救急隊の皆さんに喜んでいただきました。



救急救命士章のヒミツ

救急救命士章の制定は救急隊員章より3年早く、平成4年7月1日、本市における救急救命士運用開始と同日です。

当時の警防部長から、ひと目見て救急救命士だとわかるようなワッペンを作るよう事前指示を受けました。市民にとっても病院職員にとっても初めて見る「救急救命士」なので、周知効果も含め目立つことが大切だと思いました。

そこで、表記は日本語とするほか、目立つ色とする、シンプルであることを基本としました。出来上がったのが現行の救急救命士章ですが、当初作ったものは少々小さめでした。サンプルを見た警防部長から「小さすぎる。幅30cmぐらいにして背中に大きく貼れ」とご意見をいただいたのですが、「傷病者等と向き合うときは、背部より胸部のほうが目立ちますので胸に着けさせてください」とご説明し、現行の大きさと装着位置になりました。現在は赤い「指導救急救命士章」も運用されていますが、こちらも格好いいですね。



「人的エラーからの脱却 VI」

リスクマネジメントコンサルタント

代表 岡田 康裕



レジリエンスエンジニアリングをそれぞれの組織に実装し、実務に役立てている事例は日本においてはそれほど多くない。その理由は、いくつかあると思われるが、知見の積み重ねが必ずしも十分ではないことや使われている用語が十分に日本語に馴染んでいないことなどが挙げられるだろう。

レジリエンスエンジニアリングとは少し異なる視点から安全を追求し、実装し一定の成果を挙げている考え方に高信頼性組織 (High-Reliability Organizations) がある。今回は高信頼性組織について考えてみたい。

高信頼性組織は、1990年代に米国を中心に経済学、政治学、社会心理学を含む学際的研究グループが、高リスク産業組織(原子力空母、原子力発電所、航空管制システム、救急医療センター)への緻密な観察調査の結果に基づいて提案したものである。当初は、常に過酷な条件下で活動しながらも事故やエラーがほぼゼロに近い状態でオペレーションが行われ、継続的に高い安全性・信頼性を提供している組織とはどのようなものかという素朴な疑問からの研究であった。

高信頼性組織の活動の要件として5つの組織的機能が言われている。第一は「失敗からの学習(失敗に注目する、失敗の重視)」であり、過去の失敗を組織全体の中で分析し、その教訓を迅速に学習すること。第二は「予測の非単純化(単純な解釈をしない、単純化への抵抗)」であり、現況を多様な視点で眺め、将来起こりうる様々なケースを予測すること。第三は「現場状況への敏感さ(オペレーションに敏感になる、オペレーションの重視)」であり、常に現場の状況に気を配り、問題が発生した際には、その情報を即座に組織内で共有し、問題解

決の戦略を立てること。第四は「復旧能力の向上(危機においてレジリエンスである)」であり、不測の事態への即応に習熟し、平時とは異なる方法で対処できること。第五は「専門性の尊重(専門知識を有するものを尊重する)」であり、発生した事態の対処や問題解決に適した人材に権限を委譲し、平時と異なる体制で対処・解決を速やかに実行することである。この要件の表現については、研究者によって差異があるが、内容は同様である。この要件そのものは、特別なことではなく、多くの組織において、何らかの形ですでに実践されていることである。しかし、高信頼性組織は原子力空母などの特殊かつ多重の規制がかかる組織であることから、一般的な組織への応用は難しいと考えられていたことと内外の研究者がマインドフルネスを要件の一つとして挙げていることが分かりにくさを作った。マインドフルネスは巷で流布している瞑想に関することではない。人間の注意の働きや情報処理に関する概念であり、高信頼性組織では、状況・問題・対処策に対して妥当な解釈を継続的に更新し、深化させようとする心理状態を指している。

高信頼性組織という表象(シンボル)を戦略的に利用し、組織トップの経営姿勢とすることによって成果を挙げている組織が報告されつつあり、今後の展開に期待したい。



横浜港の安全を支える最新鋭の消防艇「まもり」について

横浜市消防局 施設課

消防艇「まもり」の主な特徴

- 毎分32,000ℓを放水できる消防ポンプ(普通ポンプ車約16台分)を装備
- 放水と機動性を両立させる6基のエンジンを搭載
- 石油コンビナート火災など、様々な火災へ対処するため、15,000ℓ放水砲2基、7,600ℓ電動式放水銃4基を装備
- 陸上への大量送水を可能とする「大口径送水口(150mm)」を装備
- 穴が開いても沈まない、ウレタン注入小型救助艇を搭載

船体要目

全長	24.50m
全幅	6.00m
型深さ	2.50m
総トン数	49トン

竣工 令和3年10月17日



操舵室



15,000ℓ放水砲

株式会社KSP大黒神奈川共同防災センター 石油コンビナート技能コンテスト最優秀賞

横浜市消防局 保安課

総務省消防庁主催の「令和3年度石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」に鶴見区大黒町を拠点とする株式会社KSP大黒神奈川共同防災センターが出場しました。消防局から技術的な支援を受け訓練を重ねた結果、出場した全国32組織のトップとなる最優秀賞に輝き、総務大臣から表彰されました。前回出場した平成30年度に続く最優秀賞の受賞であり、2度の最優秀賞受賞を成し遂げた全国初の組織となりました。



競技審査の様子



総務大臣賞を受賞した上位5組織
(前列右から3人目及び後列右から3人目が株式会社KSP大黒神奈川共同防災センター)



イ フ カ ニーゼロニーニョ コ ハ マ
「IFCAA 2022 YOKOHAMA」を開催

■ 横浜市消防局 総務課

令和4年6月6日(月)～8日(水)に、パシフィック横浜会議センターで、第32回アジア消防長協会(IFCAA)総会・第74回全国消防長会総会を開催します。

アジア・オセアニア18カ国3地域の消防関係者が

来日し、国内724消防本部の関係者と合わせて約1,000人が参加する国際会議となります。

その他、市民の皆様にも参加していただけるイベントとして、最新の防災関係機材等が展示される「横浜国際消防・防災展」(6月

8日(水)～9日(木))や市民参加型イベント(横浜市民防災センター、横浜都市発展記念館で開催調整中)等の関連行事を含み、「IFCAA 2022 YOKOHAMA」と呼んでいます。是非、足をお運びください。



QRコード
 IFCAA 2022 YOKOHAMA ホームページより
 (<https://www.ifcaa2022yokohama.com/>)

横浜国際消防・防災展
 のご案内

港北消防フォトコンテストを開催

■ 港北消防署

港北消防署・港北火災予防協会では、秋の火災予防運動に合わせ「港北消防フォトコンテスト」を開催しました。

近年、スマートフォンの普及により、お手軽に高画質の写真を撮影することが可能になったことから、非接触型のイベントとして港北区内の「消防」や「防災」に関するものを撮影いただき、防火防災への関心や、地元の安心安全の再確認を目的として行いました。

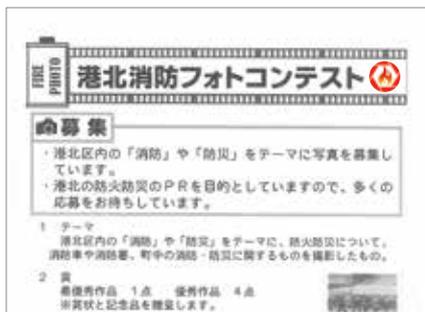
写真企画は初の取組であり、募集が集まるか不安ではありましたが、様々な視点による写真を応募いただき

ました。

今後も写真企画を実施していく予定ですので、港北区にお立ち寄りの際は「パシャリ!」と撮影して是非、応募してください。



審査の様子



応募チラシ



最優秀作品 「訓練。だけど真剣に。」 菊地 秀行 氏

事務局職員の趣味の紹介

私の趣味

No.3 登山とギター

講習課 古都 隆



マッターホルンに乾杯 (リッフェルベルグにて) 古都

趣味は何かと聞かれたら、登山とギターと答える。

1 登山

山登りは若いころから始め、丹沢から八ヶ岳、北アルプスへ。登り方も尾根歩きから沢登り、岩登りへ。無雪期から冬山へ変化していった。

その後はずっとヨーロッパアルプスに憧れていた。2002年に山の仲間とモンブラン登山を計画した。

高度順応のため、シャモニーモンブランからエギーユドゥミディからコスミック稜という岩稜を登った。日本の感覚でガイドもつけず。ルートを間違い時間がかかり、最終



エギーユドゥミディ



モンブラン (4,810m)

ロープウェイの時間に合わなかった。稜線上のコスミック小屋(3,613m)に泊まることになってしまった。翌朝、美しいアルプスの夜明けを見ることができた。

モンブラン(4,810m)登山は吹雪のためグーテ小屋(3,835m)で引き返した。

ツェルマットに移動し、4,000m峰で簡単に登れるブライトホルン(4,164m)に登った。

2007年にはマッターホルン(4,478m)を目指すが悪天候で登頂できず、代わりにポルクス(4,091m)をガイド付きで登った。今回は高度障害で自分は山頂手前で待機することになってしまった。しかし、美しいヨーロッパアルプスの景色を堪能した。



夜明けのヨーロッパアルプス

グリンデルワルドに移動し、アイガーの隣に立つメンヒ(4,107m)には登頂できた。

2012年に再度マッターホルンを目指した。マッターホルンを登るためには試験山行に合格しないといけないが、その山行のブライトホルンハーフトラバースは楽々とクリアしたが、やはり天候が悪くなってくる!残念!

しかし、体力のあるS氏だけが一日日程を短縮し、次の



シニアギターコンクール



雪谷ギターアンサンブル

日、登頂を果すことができた。

登頂の日、S氏を迎えるためヘルンリ小屋(3,260m)まで登って行った。降りてきたS氏と祝杯を挙げた。自分では登ることが出来なかったが、仲間が登頂できたことで目的を達成した。

このマッターホルン登山以降は心を改めて、夫婦での山歩きや国内外の旅行が主となっている。登山で多くのことを学んだ。中でも一番は体力、気力での「自分の限界」を知ることができたことである。生きていく上で原動力となっていたことは確かである。

2 ギター

自分にとってギターも長い歴史がある。団塊の世代の方は覚えている方もいらっしゃると思うがNHKが「ギター教室」を始めた。

私もこのころからギターを始めた。NHK講師の京本輔矩氏に学生時代の約3年師事した。その頃はそれなりに弾けるようになったと誤解していた。

ところで、皆さんは「現代ギター」という雑誌をご存じだろうか？この雑誌の創刊は1967年4月の月刊誌である。ちょうど、日本中がギターブームでNHKで「ギター教室」が始



現代ギタ創刊一第5号

まったころである。この雑誌は現在も刊行されており通巻700号を数えている。世界的に見てもギター専門誌で50年以上続いているものはない。

その「現代ギター」誌を私は創刊5号から持っている。途中抜けている部分はあるが約600冊近く持っている。

また、偶然買ったタンゴ曲集が心に響いた。その曲集の編曲者・ギタリスト飯泉昌宏氏に師事した。現代タンゴの代表のピアソラをはじめ、古典タンゴの数々を知ることができた。

自分の實力を知りたくて「シニアギターコンクール」(ギター文化館主催)に出場したことがある。

3回参加したが、幸運にも3回とも本選に出場できた。最高は第三位であった。コンクールは初めての挑戦であったが、こんなに緊張するものか。普段家で弾くギターとは全く違った体験をした。しかし、音響の良いホールで演奏を楽しむことができた。

現在はギター合奏をやっている。ギタリストで作曲家の永島志基さんが指導する現代ギター社主催、「GGギターアンサンブル」地元大田区の「雪谷ギターアンサンブル」に参加している。それぞれ演奏会もあり刺激をもらっている。興味のある方は、YouTubeにアップされているものがありますのでご覧になってください。

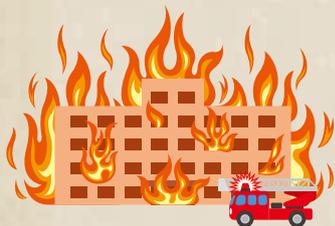
更に、音楽ボランティアとしてデイサービスや老人福祉施設などでプロのバイオリニストの方と合奏させてもらっている。コロナ前は月に4、5回行かせてもらっていたが、現在は全くなしになった。

最後に、コロナ禍が早く収束して、自由に旅行や演奏が出来るようになることを祈るばかりです。

新約消防自書

命に繋がる知識は関心にあります

昭和47年5月13日夜に発生した大阪のデパート火災。3階から出火、その際、7階のキャバレーに181人の利用者がおり、利用者はダクト等からの噴煙で火災に気づきました。この時、すでに煙がエレベーターや屋内階段を伝わって上ってきており、ここを使用しての避難は困難。結果、118人が犠牲となってしまいました。この状況の中でも、バルコニー付避難階段を利用し脱出した人が



2人いるのです。なぜ、2人だけ。

この避難階段は、クロークの後方に設置されてい

たのですが、階段入口の前面にカーテンが引いてあり、施設利用者の目に触れることがなく、その所在に気付くことが難しくなっていたのです。気付いていたのは、その場所に詳しいクローク係員と、常々階段を使っていたホステスの2人です。2人にとって馴染みの階段だったのです。カーテンの罪は大きい。見えているか見えてないか。知っているか知らないか。それが往々にして、生存に係わる分岐点になり得ます。

何ものかに趣味を持っている人は、その分野に実に詳しくなります。関心を持っているということが知識を広め、深めています。知識とは関心です。普段から、避難をはじめ消火・通報に係わる消防用設備等の設置位置・使用方法など確認し、知っておくことが大切になってきます。更に言えば※「知・好・楽」です。普段から消防防災に関心をもって知るのみでなく、好きになり、楽しんでもらえれば、それはいざという時の命綱となるはずです。(K)

※「これを知る者はこれを好む者に如(し)かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如(し)かず。」「論語」

もう
妄

げん
言

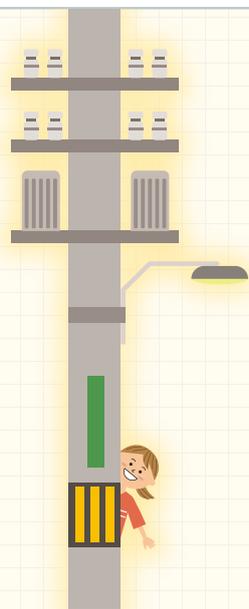
た
多

し
謝

第19回

ちいちゃんの家族はわが家から徒歩7分のところへ引っ越してきた。だから「ちいちゃ〜ん、散歩に行こ〜」とじいちゃんはインターホンのベルを押し、レンズの前で変顔をする。中から「あっ、じいちゃんだ」玄関前の階段を数段昇るとドアが開いた。ちいちゃんのお母さんと1歳前の弟(とおくん)と一緒に行くらしい。とおくんを乳母車(最近ではベビーカーという)に乗せお母さんが押す、というより坂を下るので乳母車が転げ落ちないようにハンドルを掴み反り気味に小さな歩幅で歩く。じいちゃんはちいちゃんと手をつなぐ。ちいちゃんは背が伸びたので、じいちゃんは漸く直立して歩けるようになった。でも小さい。じいちゃん

は「先回りしてお母さんとおくんをおどかそう」ちいちゃんはじいちゃんと急な階段を下る。手は放さない。右足を一段降ろすと左足をその段に揃える。一步一步左足が右足に付き従い、一番下まで降り切った。「その電柱に」とじいちゃんはちいちゃんの手を引っ張り二人で隠れた。するとちいちゃんは「お母さーん、ちいちゃんはどーこだ」お母さんが見つける前に「ここでした。」と電柱から道に飛び出して叫んだ。どこにいるかわかってしまうではないか。ちいちゃんは隠れるのがまだ下手なのだ。(し)



横浜路地裏日記

YOKOHAMA ROZIURA NIKKI

連載 第18回

文と写真 ● ジャム

横浜橋通商店街を忘れるわけにはいかない。友達とでもいいし、家族とでもいいし、買い物でもいいし、お酒の席でもいいし、ディナーでもいいし、寿司でもいい。オールマイティーなのだ。横浜橋通商店街には、「いきな下町商店街」というキャッチフレーズが付いている。

「いき」と言えば、九鬼周造の「『いき』の構造」ということになる。「いき」の定義として九鬼周造は三つ挙げてある。「いきの第一の徴表は異性に対する「媚態」である。…第二の徴表は「意気」すなわち「意気地」である。



…第三の徴表は「諦め」である。…」とこんな風に論じているけれども、九鬼の波乱万丈な生涯が凄すぎてそちらに目が行ってしまう。何しろハイデッカーに学び、ベルクソンと友達で、サルトルが家庭教師だった。ところが、哲学者にもかかわらず随筆家としても素晴らしい。「祇園の枝垂桜」という随筆には、市井の人々に対する眼差しがとても温かい。何しろ、料亭や茶店があろうが、酔漢が一升徳利を抱えて暴れていようが、路端で傍若無人な振る舞いや、狂態を演じても、桜の前ならばあながち悪くないとまで言うのだ。どうするんだ、オレ。

まさに市井の人々のためにある商店街の代表が横浜橋通商店街ということになる。目立つのは八百屋さん、魚屋さん、肉屋さんというところではあるのだが、気になったのはセンスのいい花屋さん。花屋さんをやっていくことはなかなか難しいと聞く。きっと花好きが多いのだ。



わたしの ベストショット!!

撮影:近藤 美樹さん



水陸両用車
スカイダックと
消防艇 ゆめはま

越後桜

酒造元 越後桜酒造株式会社(新潟県)

コメント

桜の名のごとく、ほんのり甘いフルーティーな味わいの口当たりの良いスッキリした飲み口で、日本酒初心者の方にも美味しくいただけるお酒です。いろいろ飲み方はありますが、私は冷で飲むのが一番 皆さん一度お試しあれ。

価格等 720ml(大吟醸) 1,000円



オススメイン
今回の推薦者
講習課
おおつか かつみ
大塚 勝美



私の好きな
日本酒

当協会事務局員のオススメ

第6回

編集後記

「気づきを行動に移す」は本誌のテーマの一つである。

「分っちゃいるけど やめられねえ」は梯子酒を歌ったスーダラ節の一節。

楽しい酒の話ならまだしも、災害の場合はわかってはいたけどやらなかったことが命取りになる。

そんなことはなんとしても避けたい。

①災害時の食料など備蓄品を揃えること、②停電に備えること、③断水に備えること、

④家の地震対策に配慮すること、⑤居住地の津波や風水害の危険度を調べておくこと、⑥家族で避難場所や連絡方法を確認しておくこと。などなど。

みーんなわかっちゃいることである。

最近、自分でも災害時に後悔しないように対策をいくつか進めた。

その際、調べるとYouTubeなどに防災用品の種類や使い方がわかりやすく解説されていて、自分に合った物品や対策を探すこともできた。

小誌を読んで何か感じていただけたら、その時が始めるポイントです。

「わかっているなら始めましょう」

(アルガ)

**消防・防災
機器販売**

**消防設備
工事・点検**

**防災用品
販売**

廃消火器の処分は所定の
手続きが必要です。
買い替え・処分は弊社に
お任せ下さい。

《創業71周年》消火器リサイクル推進センター 特定窓口

双信消防設備株式会社
横浜市西区中央1-37-24 ☎ 045-321-1884

横浜油材株式会社

- 石油部：重油・軽油・灯油・潤滑油
- 洗剤部：クリーニング工場向け洗剤、資材全般
・工業薬品、有機溶剤
(業務用水洗機・ドライ機・コインランドリー設備施工全般)
- 工事部：危険物工事設計施工及び解体工事一式
- リサイクル部：中古タンクローリー、中古給油機、
中古コンプレッサー等

〒245-0018
横浜市泉区上飯田町1465-2
TEL 045-803-3508
FAX 045-803-3594
URL: <https://y-yuzai.com/company/>



◆地下埋設タンク・配管の
気密漏洩検査
(一般財団法人 全国危険物安全協会 第14012号)

◆産業廃棄物の処理・再生
各種タンク・ピットの清掃工事
(弊社でリサイクル可能な廃油は買取り致します)

《ISO14001認証取得》

三美興産株式会社
〒223-0059 横浜市港北区北新横浜一丁目9番地2
TEL 045(549)3551 FAX 045(548)2102
URL: <http://www.sanbikosan.com/>



消防用設備一式 設計. 施工. 販売. 修理. 点検

消 火 器	漏 電 警 報 器
自動火災報知設備	屋内消火栓設備
避 難 器 具	スプリンクラー設備
非常警報設備	誘 導 灯

株式会社

東横防災商事

〒226-0016
横浜市緑区霧が丘4丁目2-3-206
☎(045)921-1244
FAX(045)923-0677




火 迫 要 慎

創業 50 年

消火器・消防ポンプ他
各種防災機器の販売
火災報知機他・各種防
災設備の設計施工・点検

株式会社 蒲原商会

横浜市港北区樽町3-1-13
TEL (045) 542-7266 (代)
FAX (045) 542-7252

広告

神奈川県民のための

火災共済

組合員のみなさまが火災等に遭ったとき、互いに助け合う制度です

例えば、700万円の保障での年間掛金

マンション等
(耐火構造)
専用住宅の場合

2,800円

木造・準耐火等
(非耐火構造)
専用住宅の場合

5,600円

*新規にご加入の際、組合員になっていただくため、100円の出資金が必要です。

広告内容は概要のため、詳細は下記までお問い合わせください。

たいせつな建物と家財…



火災



水漏れ



落雷など

もしものリスクに備える保障!

築年数に関係なく、
同じ加入基準額で
加入できます!



*イラストはイメージです。

横浜市孤立予防対策協力事業者

横浜市民共済生活協同組合



0120-073-203

横浜市民共済

検索

横浜市中区日本大通58 日本大通ビル 8階



行動力に自信アリ!

常にお客様目線でニーズにお応えします。

日頃のご愛顧に感謝いたします。
これからも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

吾妻印刷株式会社

〒232-0006 横浜南区南太田 4-8-12
★お電話でのお問合せは…平日9:00~19:00★
www.azma.co.jp

■本社・工場
Tel.045-730-5161(代) Fax.045-730-5171
■ディスプレイ事業部 プレセンス
Tel.045-341-4475 Fax.045-341-4476

横浜 吾妻印刷 検索

QRコードをスマートフォンまたはタブレットで読み込みますと、当社サイトをご覧いただけます
(通信料はお客様負担です)

普段の食材で、災害などの非常時を乗り越える！

備えいらずの

防災レシピ

飯田 和子 Kazuko Iida
「食」で実践フェーズフリー
栄養士、調理師、国際業膳師
(社)日本災害食学会災害食専門員
(株)WA・ON代表取締役



オールカラー/A5判/88頁
定価1,320円(本体1,200円+税10%)

購入者限定
レシピ動画付き！
YouTubeと連動！

カラダほっこり！
具たくさんシチュー

コレ、ホリ袋となべと
カセットコンロで
できるんです！

「いつも」の食事を
「もしも」の食事に！

詳細は
こちら！



神奈川県とのコラボ第1弾！
組織立った活動をする前の対応をまとめた
今までなかったサポートブック！

詳細は
こちら！



動画付き

消防団初動対応 サポートブック

大規模災害編

編集／神奈川県消防保安課

- ポケットサイズ(130mm×80mm)
- リング製本(着脱可能)
- 32頁/オールカラー
- 定価847円(本体770円+税10%)

※神奈川県と東京法令出版は、神奈川県民の防災及び防犯意識の向上並びに対応力の強化を目的とした普及啓発を図っていくことを目的に、「防災・防犯の普及啓発等に関する協定」を締結しました。「消防団初動対応サポートブック(大規模災害編)」は、この協定第1弾の書籍です。

本書の特長

火災
救急
救助

など

発生する様々な事案ごとに対応手順を明記。「確認事項」「判断基準」にチェックすることで、迷わずに適切な対応ができます。

目開き 上面

災害の種別ごとに
「確認事項」
「判断基準」
「活動内容」

見やすく
使いやすい
見開き構成

を **フローチャート** で
解説！

目開き 下面

上面の **フローチャート** で
重要な部分を
豊富な **イラスト** で
分かりやすく解説！



東京法令出版 株式会社

インターネットでお申込み
お申込みはこちらから
https://www.tokyo-horei.co.jp/

お電話でお申込み
0120-338-272

FAXでお申込み
0120-338-923

令和4年度 防火・防災管理講習等 日程表

月別	受付開始日	甲種防火管理新規講習 及び防災管理新規講習を併せて 実施する講習	甲種防火管理再講習 及び防災管理再講習を 併せて実施する講習	乙種防火管理講習	甲種防火管理再講習	防災管理新規講習
4月		第1回 21日(木) 22日(金) 第2回 25日(月) 26日(火)	第1回 27日(水)			
5月	4月5日 (火) 8時45分	第3回 10日(火) 11日(水) 第4回 17日(火) 18日(水) 第5回 21日(土) 22日(日) 第6回 25日(水) 26日(木) 第7回 28日(土) 29日(日)	第2回 24日(火) 緑	第1回 14日(土)		
6月		第8回 2日(木) 3日(金) 第9回 11日(土) 12日(日) 第10回 15日(水) 16日(木) 第11回 24日(金) 25日(土) 第12回 28日(火) 29日(水)		第2回 7日(火)	第1回 20日(月) 緑	
7月		第13回 2日(土) 3日(日) 第14回 7日(木) 8日(金) 第15回 15日(金) 16日(土) 第16回 21日(木) 22日(金) 緑 第17回 30日(土) 31日(日)	第3回 19日(火)			
8月	6月7日 (火) 8時45分	第18回 2日(火) 3日(水) 第19回 8日(月) 9日(火) 第20回 15日(月) 16日(火) 第21回 22日(月) 23日(火) 第22回 25日(木) 26日(金)		第3回 10日(水) 都筑		
9月		第23回 1日(木) 2日(金) 第24回 3日(土) 4日(日) 第25回 7日(水) 8日(木) 第26回 15日(木) 16日(金) 都筑 第27回 20日(火) 21日(水) 第28回 24日(土) 25日(日)	第4回 12日(月)		第2回 9日(金)	
10月		第29回 3日(月) 4日(火) 第30回 8日(土) 9日(日) 第31回 12日(水) 13日(木) 第32回 15日(土) 16日(日) 第33回 20日(木) 21日(金) 第34回 24日(月) 25日(火) 緑		第4回 11日(火)		第1回 19日(水)
11月	9月6日 (火) 8時45分	第35回 1日(火) 2日(水) 第36回 5日(土) 6日(日) 第37回 9日(水) 10日(木) 都筑 第38回 15日(火) 16日(水) 第39回 26日(土) 27日(日)	第5回 18日(金)	第5回 17日(木)		
12月		第40回 1日(木) 2日(金) 第41回 5日(月) 6日(火) 第42回 10日(土) 11日(日) 第43回 14日(水) 15日(木) 都筑 第44回 19日(月) 20日(火)		第6回 16日(金)	第3回 22日(木)	
1月		第45回 10日(火) 11日(水) 第46回 16日(月) 17日(火) 第47回 24日(火) 25日(水) 第48回 28日(土) 29日(日)		第7回 22日(日)		
2月	12月6日 (火) 8時45分	第49回 1日(水) 2日(木) 第50回 8日(水) 9日(木) 第51回 15日(水) 16日(木) 第52回 23日(木) 24日(金)	第6回 14日(火)	第8回 13日(月)	第4回 27日(月)	
3月		第53回 4日(土) 5日(日) 第54回 8日(水) 9日(木) 第55回 13日(月) 14日(火) 第56回 18日(土) 19日(日)	第7回 22日(水)	第9回 6日(月)		

講習会場

講習会場は講習日程に「無印」、「緑」、「都筑」と付記してあります。それぞれ次のとおりです。

無印：中区山下町7番地の1 「横浜市研修センター」みなとみらい線「日本大通り駅(県庁・大さん橋)」3番出口から徒歩3分
又はJR「関内駅」南口、「石川町駅」中華街口から各徒歩13分又は横浜市営地下鉄「関内駅」1番出口から徒歩12分

「緑」：緑区寺山町118 「緑公会堂」中山駅(JR・市営地下鉄グリーンライン)から徒歩5分

「都筑」：都筑区茅ヶ崎中央32-1 都筑区総合庁舎内「都筑公会堂」 横浜市営地下鉄「センター南」駅から徒歩約6分

※講習開始時間等が会場により異なりますので、講習のご案内又は横浜市消防局のホームページを参照してください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/shobo/koushu-shiken/kousyu/>

講習紹介コーナー 救命講習

誰が受講できるの？

● 普通救命講習I・Ⅲ・上級救命講習

横浜市内に「住んでいる・勤めている・通学している」方が対象です。

● 応急手当普及員新規講習

横浜市内の事業所や自主防災組織等において応急手当の指導をする方が対象です。

※認定を更新される方は、3年以内に再講習を受講する必要があります。

どの講習を受けたいの？

1 普通救命講習I 3時間(半日)

主に成人に対して必要な応急手当の方法を習得

- 基本的な心肺蘇生(胸骨圧迫・人工呼吸)
- 気道異物の除去 ● AED ● 止血

2 普通救命講習Ⅲ 3時間(半日)

主に小児、乳児、新生児に対して必要な応急手当の方法を習得

- 基本的な心肺蘇生(胸骨圧迫・人工呼吸)
- 気道異物の除去 ● AED ● 止血

3 上級救命講習 8時間(1日)

1や2に加え、さらに詳しい応急手当の方法を習得

- 基本的な心肺蘇生(胸骨圧迫・人工呼吸)
- 気道異物の除去 ● AED ● 止血
- 傷病者管理 ● 三角巾の取扱い ● 外傷の手当

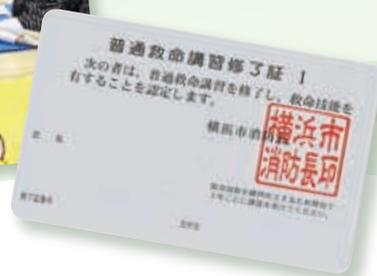
4 応急手当普及員新規講習 24時間(3日)

事業所や自主防災組織で普通救命講習Iを指導する知識と技術を習得

- 応急手当の基礎的な知識技能
- 応急手当の指導要領、指導技法 ● 基礎医学
- 資器材の取扱い要領

「その時のために…」

講習で正しい知識と技術を身につけましょう!!



電話申し込み

横浜市防火防災協会 045-714-9911
平日 9時～16時(12時～13時を除く)

横浜市消防局ホームページ(Web予約)

消防局サイト内検索で、「救命講習等Web予約」で検索してください。
予約ページに進みますので、必要事項を入力してください。

※新型コロナの状況により中止になる場合があります(事前にホームページでご確認ください)

横浜市防火防災協会

検索

当協会では横浜市等から

受託し各種資格取得講習

を実施しています

● 救命講習(普通救命講習I・Ⅲ、上級救命講習、応急手当普及員講習)

- 防火管理者・防災管理者取得講習
- 自衛消防業務講習
- 防火対象物点検資格者講習
- 防災管理点検資格者講習
- 危険物取扱者受験準備講習
- 患者等搬送乗務員講習

令和4年度 救命講習・応急手当普及員講習 日程表

月別	受付開始日	普通救命Ⅰ	普通救命Ⅲ	上級救命	普及員（新規）	普及員（再講習）	
4月	4月4日 (月)	13(水) 午前・防セシ 15(金) 午後・防セシ 19(火) 午前・防セシ 19(火) 午後・防セシ	13(水) 午後・防セシ 15(金) 午前・防セシ	11(月) 防セシ 22(金) 長津田 25(月) 防セシ	26(火)～28(木) 救命士養成所	18(月) 午後 救命士養成所	
5月		11(水) 午前・長津田 11(水) 午後・長津田 18(水) 午前・防セシ 18(水) 午後・防セシ 27(金) 午前・長津田 27(金) 午後・長津田	20(金) 午前・防セシ 20(金) 午後・防セシ	9(月) 防セシ 13(金) 長津田 16(月) 防セシ 19(木) 長津田 23(月) 防セシ 25(水) 長津田		31(火) 午後 救命士養成所	
6月		1(水) 午前・長津田 1(水) 午後・長津田 15(水) 午前・防セシ 15(水) 午後・防セシ 30(木) 午前・長津田 30(木) 午後・長津田	16(木) 午前・防セシ 16(木) 午後・防セシ	6(月) 防セシ 9(木) 長津田 13(月) 防セシ 17(金) 長津田 28(火) 長津田	20(月)～22(水) 救命士養成所	27(月) 午後 救命士養成所	
7月		6月3日 (金)	13(水) 午前・防セシ 13(水) 午後・防セシ	21(木) 午前・防セシ 21(木) 午後・防セシ	7(木) 長津田 11(月) 防セシ 15(金) 長津田 19(火) 防セシ 25(月) 防セシ	27(水)～29(金) 救命士養成所	26(火) 午後 救命士養成所
8月			10(水) 午前・長津田 10(水) 午後・長津田 31(水) 午前・防セシ 31(水) 午後・防セシ		5(金) 長津田 8(月) 長津田 15(月) 防セシ 26(金) 長津田 29(月) 長津田	17(水)～19(金) 救命士養成所	22(月) 午後 救命士養成所
9月			7(水) 午前・防セシ 7(水) 午後・防セシ 16(金) 午前・長津田 16(金) 午後・長津田	22(木) 午前・防セシ 22(木) 午後・防セシ	1(木) 長津田 5(月) 防セシ 9(金) 長津田 14(水) 長津田 20(火) 防セシ 26(月) 防セシ 30(金) 長津田		12(月) 午後 防セシ
10月	9月2日 (金)	7(金) 午前・防セシ 7(金) 午後・防セシ 17(月) 午前・長津田 17(月) 午後・長津田	5(水) 午前・防セシ 5(水) 午後・防セシ	3(月) 防セシ 13(木) 長津田 21(金) 長津田 24(月) 防セシ 31(月) 長津田		26(水) 午後 防セシ	
11月		4(金) 午前・長津田 4(金) 午後・長津田 16(水) 午前・防セシ 16(水) 午後・防セシ	25(金) 午前・防セシ 25(金) 午後・防セシ	1(火) 長津田 7(月) 防セシ 10(木) 長津田 14(月) 長津田 21(月) 防セシ 28(月) 防セシ		30(水) 午後 防セシ	
12月		15(木) 午前・長津田 15(木) 午後・長津田 21(水) 午前・防セシ 21(水) 午後・防セシ		5(月) 防セシ 8(木) 長津田 12(月) 防セシ 19(月) 長津田 23(金) 防セシ			
1月	12月1日 (木)	13(金) 午前・長津田 13(金) 午後・長津田 18(水) 午前・防セシ 18(水) 午後・防セシ	25(水) 午前・防セシ 25(水) 午後・防セシ	10(火) 防セシ 16(月) 長津田 20(金) 長津田 23(月) 防セシ 27(金) 長津田 30(月) 防セシ			
2月		2(木) 午前・防セシ 2(木) 午後・防セシ 21(火) 午前・防セシ 21(火) 午後・防セシ 24(金) 午前・防セシ 24(金) 午後・防セシ	9(木) 午前・防セシ 9(木) 午後・防セシ	10(金) 長津田 13(月) 長津田 27(月) 防セシ		7(火) 午後 防セシ	
3月		1(水) 午前・防セシ 3(金) 午前・長津田 3(金) 午後・長津田 8(水) 午後・防セシ 29(水) 午前・長津田 29(水) 午後・長津田	1(水) 午後・防セシ 8(水) 午前・防セシ	6(月) 防セシ 10(金) 長津田 13(月) 防セシ 27(月) 長津田	22(水)～24(金) 救命士養成所	20(月) 午後 救命士養成所	

講習会場：防セシ＝横浜市民防災センター、長津田＝緑消防署長津田消防出張所、救命士養成所＝横浜市救急救命士養成所

- ① 横浜市民防災センター： 神奈川区沢渡4-7
横浜駅下車 徒歩約10分（JR・東急・京急・相鉄・市営地下鉄・みなとみらい線）
- ② 緑消防署長津田消防出張所： 緑区长津田2-10-4
長津田駅下車 徒歩約3分（JR・東急）
- ③ 横浜市救急救命士養成所： 南区中村町4-270-3
阪東橋駅下車 徒歩約10分（市営地下鉄）

「消防関係法令集」販売中！

防火管理者必携！

消防関係法令集

2,750 円(税込) (当協会会員 2,500 円)

本書の
特徴

- 監修／横浜市消防局予防部予防課
- 防火・防災管理の業務を行う上で必要となる消防関係の法令を網羅した実務書です。
- 横浜市火災予防条例も編さんされており、法令、条例、両面の規制が把握できます。

新たに
追加する
主な内容

消防法施行規則等

・消防法令に定める様式の押印削除等

横浜市火災予防条例

・第 35 条の5 住宅用火災警報器の設置免除に係る所要の整備
・第 45 条 飲食店等の消火器設置基準の改正



● サイズ／A5 ● 重さ／約 1,200g
● 発行日／令和3年4月6日

購入方法 ①と②の2通りあります

① 窓口で購入

横浜市防火防災協会で購入する

総務課で代金 2,750 円
(当協会会員は 2,500 円) を支払う。

※事前にお電話をいただくとお渡しがスムーズです。

② 宅配を希望 (送料等の御負担をお願いします。)

横浜市防火防災協会宛に

注文用紙※を送信する (FAX または E メール)

FAX 045-714-0921

E メール kyoukai@ydp.or.jp

※注文用紙は

「横浜市防火防災協会」ホームページ内にあります。

横浜市防火防災協会 検索

③ スマホ版には掲載していませんので「PC サイトヘジャンプ」してご利用ください。



■販売元

公益社団法人 横浜市防火防災協会

問い合わせ先 電話 045(714)0920 (総務課)

営業時間 8:30~17:15

定休日 土・日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)

最寄り駅 ◆京浜急行・地下鉄「上大岡駅」徒歩約15分

◆神奈中バス停 11番で7分「最戸町」下車徒歩3分

代金を振り込む

1冊の場合：3,520円(当協会会員は3,270円)を振り込む。

内訳 本代 2,750円(当協会会員は2,500円)

送料 770円 ※振込手数料は別途かかります。

■振込先

横浜銀行県庁支店(普) 1128493

口座名義：

公益社団法人横浜市防火防災協会 会長 鈴木 正光

◇ 入金を確認後、本と領収書をお送りします。

※発売直後は混雑により発送が遅れる場合がありますのでご了承ください。

公益社団法人 横浜市防火防災協会

〒232-0064 横浜南区別所一丁目15番1号 BML横浜ビル2階

URL <https://ydp.or.jp>

FAX 045(714)0921



□ 総務課 TEL 045(714)0920
□ 防災支援課 TEL 045(714)0929

□ 講習課 TEL 045(714)9909
□ 救命講習受付 TEL 045(714)9911